

NTO

感震機能付ブレーカ

GK-WN-MGU type

NE-C-MGU type

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。  
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

危険

死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。

注意

軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況  
および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で  
区分しています。

注意する

してはいけない

必ず守る

■施工上のご注意

危険

設置および配線は活線状態で行わないでください。  
感電のおそれがあります。

電線接続の際、端子ねじを表の適正締付トルクで締め付けてく  
ださい。火災のおそれがあります。

適正締付トルク一覧表			
ねじの呼び	M5	M6	M8
締付トルク N・m (kgf・cm)	2.5~3.5 (25~35)	4.0~5.0 (40~50)	5.5~7.5 (55~75)

注意

遮断時間の設定切替を行う場合は、使用環境を十分考慮してく  
ださい。

リセット入力端子に電圧を印加しないでください。  
故障のおそれがあります。

高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に  
設置しないでください。  
感電、火災や動作しないおそれがあります。

本製品をラジオ、テレビ、受信機など電磁気を発生するものの近  
くや振動を発生するものの近くに設置しないでください。  
正常に動作しないおそれがあります。

異極間の耐電圧試験・絶縁抵抗測定は行わないでください。  
故障のおそれがあります。

電気工事は有資格者（電気工事士）が行ってください。

警報出力端子は表示の極性に合わせて接続してください。

警報出力端子は定格にあった電源に接続してください。  
故障のおそれがあります。

ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品  
内部に入らないように施工してください。  
火災や動作しないおそれがあります。

単相 3 線式専用の機種は、中性線を必ず中性相に接続してくださ  
い。また、中性線欠相検出用リード線は負荷側の中性相に確実に  
締め付けてください。  
過電圧または中性線欠相で動作せずに火災のおそれがあります。

モータ保護兼用ブレーカをモータ回路に使用する場合は、  
モータの全負荷電流に適合したブレーカを選定してください。

配線完了後、テスト機能（感震機能・漏電機能）により本製品が  
正常に動作することを確認してください。

ブレーカ定格仕様電圧にあった電源に接続してください。  
不要動作および故障のおそれがあります。

電線は電源側・負荷側の指示通りに接続してください。  
火災や故障のおそれがあります。

インパクトドライバーなどによる過大な力が遮断器に加わらな  
いようにご注意ください。破損の原因になります。

ご注意

本製品は停電補償機能を有しているので施工後の電圧印加時、ブレーカを自動遮断させる場合があります。その場合は、ブレーカの  
ハンドルを「ON」にしてください。

■使用上のご注意

危険

通電中は端子部に触れないでください。  
感電のおそれがあります。

2 か所の裸充電部に絶対に触らないようにしてください。感電時に動作し  
ません。漏電遮断器は行きの電流と帰りの電流との差が規定以上になった  
時に動作する仕組みとなっており、図の場合には漏電検出しません。

ブレーカ

モータ

■使用上のご注意

注意

修理、分解および改造は行わないでください。  
火災、感電および故障のおそれがあります。

漏電遮断器を使用の際は電気機器のアース端子を必ず接地し  
てください。漏電機能が動作せず感電のおそれがあります。

感震機能付ブレーカの構造上、感震機能でブレーカが自動遮断  
した場合も漏電表示ボタン（白）が突出します。

リセット入力端子に常時信号入力を行わないでください。  
地震発生時に感震動作によるブレーカの自動遮断が行われず、  
感電・火災のおそれがあります。

地震以外でブレーカが自動的に遮断した場合は、原因を取り除  
いてからハンドルを「ON」にしてください。  
感電・火災のおそれがあります。

地震によりブレーカが自動遮断した場合は、電気製品などの安全  
を確認してから主幹および分岐ブレーカのハンドルを「ON」  
にしてください。感電・火災のおそれがあります。

電源投入またはリセット操作後、本製品の傾きの情報取得に  
10 秒必要となります。10 秒以内に本製品へ振動を与えた場合、  
本製品の実際の傾きと取得した傾きの情報に差異が生じるた  
め、地震発生時に正常動作しないおそれがあります。  
10 秒以内に本製品へ振動を与えた場合は、電源を再投入して  
から再度 10 秒間待ち使用して下さい。

保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカを「OFF」に  
し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のお  
それがあります。

半年に1回テストボタン（感震機能）を押して動作の確認を行ってください。

時々テストボタン（漏電機能）を押して動作の確認を行ってください。

■各部の名称

例：GK68WNX-MGU

感震ユニット

遮断時間切替スイッチ

電源ランプ

テストボタン（感震機能）

リセットボタン

ブザー

警報出力端子

電源側端子

漏電表示ボタン

テストボタン（漏電機能）

単 3 中性線欠相検出用リード線

トリップボタン

ハンドル

負荷側端子

リセット入力端子

例：NE63CX-MGU

感震ユニット

遮断時間切替スイッチ

電源ランプ

テストボタン（感震機能）

リセットボタン

ブザー

警報出力端子

電源側端子

ハンドル

トリップボタン

負荷側端子

リセット入力端子

■結線図

・GK-WNX-MGU(3P2E)

・GK-WNX-MGU(3P3E)

- 1 -

- 2 -

